



わだしいすき

第36号 平成24年9月13日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

月見の会を「WAO!」が共催

9月2日（日）に、「月見の会」が和田浦海水浴場駐車場で行われました。南房総市観光協会和田支部が主催したのですが、和田地域づくり協議会「WAO!」も、くじら食文化研究会おかみさんの会とともに共催しました。当日は前日までの天気と打って変わり、午前中に少し強い雨が降り、午後もちょうど落ち着いた天気となりました。

そんな中、午後4時から会が始まりました。近所の皆さんはその時刻より前から駐車場周辺に集まり、会の開催を待っていてくれました。地元の食材を使った鯨カツや竜田揚げ、赤混ぜご飯やシフォンケーキ、太巻き寿司やおこわなど、多くの食べ物が用意されました。催し物では、松風太鼓、もち投げ、民舞の会の踊り、ゴールデンボーイズのコントが披露され、最後に多くの方々の寄付による花火が打ち上げられました。



開始直後の様子

和田地域づくり協議会「WAO!」は、活動写真の展示や会場準備の手伝いなどで参加しました。活動写真は各部会ごとに、1枚ずつパネルで展示しました。

生きがい部会は、昨年度の「歩け歩け大会」や「寺子屋講座」、「グラウンドゴルフ練習会」の活動の様子がわかる写真を展示しました。今年度も「歩け歩け大会」「グラウンドゴルフ大会」を行う予定であり、多くの方々が参加してくれることを期待しています。

サーフィンプロジェクトの活動写真は、白渚海岸のビーチクリーン活動や、白渚区の旭橋付近にある県有地の草刈りとスイセンの球根150球の植栽写真です。さらに、県有地付近の堤防を兼ねた自転車道に覆い被さる枝の伐採写真も展示しました。

安心・安全部会は、和田小学校の第3次避難路の整備状況がわかる写真を展示しました。子どもたちのためにとということで、足下が悪い中や暑い中での作業などがわかるものでした。和田小や南三原小の不審者に関する防犯マップ作りについても展示しました。

にぎわい部会は10枚の写真を展示し、活動の様子を紹介しました。写真は奥田シェフを招いての学習会と3回行われた試食会の様子です。また、赤混ぜご飯やシイラの変り揚げの写真も展示するとともにレシピも近くに置き、これらの料理を広めようと試みました。

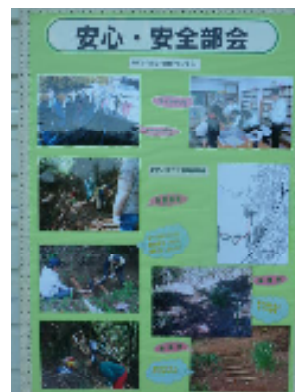
和田地域づくり協議会は地域を盛り上げようと様々な取り組みをしています。地域作りに興味のある方は会員となり、一緒に活動しませんか。お待ちしております。**連絡先47-3427**



生きがい部会



サーフィンプロジェクト



安心・安全部会



にぎわい部会

安房拓心高校への避難訓練

安房拓心高校は今年度、千葉県教育委員会の指定を受け「命の大切さを考える防災教育」の研究に取り組んでいます。その一環として、避難訓練と講演会が行われました。

避難訓練には安房拓心高校の生徒・教職員だけでなく、和田中学校の生徒・教職員と地域住民の皆さんも参加しました。午後1時に地震が発生しその後、大津波警報が発令されたとの想定で行われました。発令後、拓心高校の生徒・教職員は4階や屋上に避難し、和田中学校の生徒・教職員も拓心高校の4階に避難してきました。地域の方々も警報が発令されたとの想定により、拓心高校の4階まで避難しました。



地域の方も一緒に避難

その後、講演会が開かれました。講師は福島県浪江町立浪江小学校の前校長 半谷 一芳 先生で、演題は「東日本大震災を体験して」でした。その講演の中で、日頃心がけておいたほうがよいと思われることがありましたので、以下に記します。

①ハンドマイクの電池が切れていた。**日頃から危機意識を持って、防災機器などの点検・準備しておく必要がある。食料や水の準備も同様である。**

②避難訓練がマンネリ化している可能性がある。しかし、**訓練を積み重ねることがいざという時に役立つ。**今回の地震では、子どもたちはよく教師の声を聞き、冷静に行動してくれた。

③校庭に避難した後、近くの中学校に大津波が押し寄せたという情報が入った。そこで、再び校舎（耐震化済み）に逃げ込んだ。**正しい情報を得て、それに従って逃げる。**

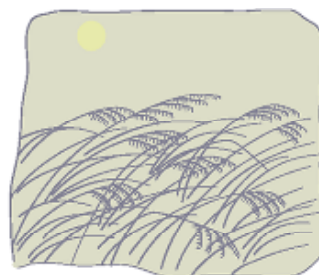
非常変災時では、まず自分の命を守る（自助）が基本になります。それができたら近くの方々の安全確保に努力（互助・共助）していきましょう。各家庭でも話し合い、いざという時に備えておくことが大切です。

和田のボランティア団体

私達の住む和田地区には、ボランティア活動に取り組んでいる方々が多くいらっしゃいます。その方々を先月号より紹介しています。今号は次の団体です。

真浦天畑保存会

^{わだまち}旧和田町は、花の町と言われていました。その典型的な場所の1つが真浦地区にある天畑で、映画「花物語」のロケ地（平成2年）になりました。その地が荒れた状態となっていることを知った地域の皆さんが、青い海と緑豊かな山、そして赤や黄の花々が咲き誇る景観を取り戻そうと、平成20年に保存会を立ち上げました。現在会員は25名で、和田町だけでなく千倉町や館山市、鴨川市、鋸南町の方々も会員となっています。



活動をはじめた頃は残念ながら荒れた状態であり、竹や雑木を伐採することからはじめました。現在もそのままにしておくと雑草等がすぐに伸びてしまいます。特に春から夏にかけては伸びがよく、10日に1回は草刈り作業に取り組んでいる状況です。その草刈り作業ですが、畑が傾斜地にあるため足下が不安定の中で行わなければなりません。



夏の草刈り作業後にパチリ

このような会員の皆さんの努力もあり、畑の状況は少しずつ改善してきています。現在は、夏から秋にかけては百日草やコスモス、冬から春にかけては菜の花や矢車草が咲くようにしています。また、和田小や南三原小の子どもたちとキンセンカを植える作業も行っています。

真浦天畑保存会では、一緒に活動をしてくれる仲間を募集しています。青い海や緑の木々、このすばらしい天畑の自然を、多くの皆さんで守っていきましょう。連絡は事務局のある観光協会和田支部 (Tel 47-3474) まで。